

4次元デジタル地球儀 Dagik Earth のための球面マルチタッチパネルの開発

増田 花乃 [1]; 小山 幸伸 [2]
[1] 大分高専・情報; [2] 大分高専

Development of the spherical multi touch panel for four dimensional digital globe Dagik Earth

Hanano Masuda[1]; Yukinobu KOYAMA[2]
[1] info,OitaNCT; [2] ONCT

In the past, some controller such as keyboard, mouse, track-ball, wii remote controller, and so forth are used, but more intuitive controller is needed.

We present the current development status for the spherical multi touch panel for four dimensional digital globe Dagik Earth.

近年、日本の学術研究において、アウトリーチが特に重要視されている。日本学術振興会による科学研究費助成事業の調書のフォーマットに、研究成果を社会・国民に発信する方法の項目が増えたことにより、多くの研究におけるアウトリーチ活動の可能性が期待されている。また、東日本大震災や熊本大分地震において、地球環境の可視化に専門家のみならず、大人から子供に至るまで一般市民の地球環境に関する注目を集めており、市民がより身近にそれらを学習するためのツールが必要とされている。これを解決する手段として、Dagik Earth は有効である。これまで、Dagik Earth 用のコントローラーとして、キーボード、マウス、トラックボール、Wii リモコンな、様々なコントローラーが試行されてきたが、それらより直観的な操作を可能とするコントローラーが望まれる。本発表では、Dagik Earth 用マルチタッチパネルの開発の進捗状況を報告する。